

# NISSHIN

[湿気硬化型アスファルト防水工法]

# プレストシステム

プレストシステムは  
地球環境に配慮した防水工法です。  
安心して暮らせる未来の地球のために……



- 当カタログのデータは全て性能値であり保証値ではありません。
- カタログに掲載してある製品の色は実際のものとは印刷インキの再現上、多少異なる場合があります。
- 材料、仕様は予告なく変更する場合があります。

防水のことがわかるニッシン・オフィシャルサイト <http://www.nisshinkogyo.co.jp/>



総合防水材料メーカー

## 日新工業株式会社

☎0120-86-2424 [営業総務課]

■本社/営業統括部 〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4 TEL.(03)3882-2571  
■関東 TEL.(03)3882-2641 ■九州 TEL.(092)451-1095 ■広島 TEL.(082)541-5033  
■大阪 TEL.(06)6533-3191 ■札幌 TEL.(011)215-1034 ■横浜 TEL.(045)316-7885  
■名古屋 TEL.(052)933-4761 ■仙台 TEL.(022)263-0315 ■工場 埼玉・山形

Jun. 2015-2000 GP

# 日新工業株式会社

# アスファルト防水は新たなステージへ、アスファルト防水の近未来標準 湿気硬化型アスファルト防水工法「プレストシステム」誕生

現代の建築物はテクノロジーの進化とともに多様化が進み、  
社会生活を支える上でその重要度は以前にも増して  
大きなものになっています。

そして、建築物を永く利用する、環境への負荷を低減するなど  
“地球と人にとって優しいこと”も、求められる大きな要素となっています。

日新工業は建築防水技術の進歩・発展とともに歩み、  
早くからこの課題に取り組んでまいりました。

そして、従来のアスファルト防水に、新しいテクノロジーを吹き込んだ、  
新時代のアスファルト防水ともいえる、湿気硬化型アスファルト防水工法  
「プレストシステム」を開発いたしました。

長年培われたノウハウにより、新たなソリューションを提案いたします。

Innovation Technology  
Standard in the near future

PREST SYSTEM

# プレストシステムは 従来のアスファルト防水を 新次元の発想で進化・発展させた 湿気硬化型の積層防水工法です。

Special **1**  
新開発  
“プレストコート”

Special **2**  
環境への  
負荷が少ない

Special **3**  
積層工法が生む  
信頼性

Special **4**  
常温工法が生む  
安全性

Special **5**  
すぐれた  
施工性

Special **6**  
広い  
汎用性

## プレストシステムとは？

今日まで最も信頼性の高い防水工法といわれていたアスファルト防水熱工法は、評価の高い一方で、アスファルト溶融時に発生する煙や臭気が都市部などでは敬遠されがちでした。防水の要となる水密性を維持したまま、この問題を一挙に解決したのが、常温アスファルト“プレストコート”です。このプレストコートと改質アスファルトルーフィング等を積層一体化した工法が『プレストシステム』です。

プレストコートは1液の無溶剤型特殊改質アスファルトです。常温で施工ができ、広い温度範囲で適切な流動性を保ちます。施工後は湿気と反応し確実に硬化するため均一な高弾性塗膜となります。

プレストシステムは、施工時の煙や臭気、二酸化炭素の発生もありません。また、ルーフィング包装紙など発生する廃材も最小限に抑えました。

プレストコートと新設計の改質アスファルトルーフィングが積層一体化するため、重厚な防水層になり、水密性、耐久性に優れています。

使用する材料は、特定化学物質を含まないため、作業者に対する安全性が高く、施工現場周辺を汚染することがありません。また、施工において火気などをほとんど使用することがないので、安全に作業ができます。

プレストシステムは、溶解釜のような施工器具を使用することがなく常温で施工ができるため、作業性が向上しています。

プレストシステムは、屋上防水、室内防水及び改修工事でも使用できる汎用性の広い防水工法です。



### 屋上防水対応

# Roof

**露出防水** RC, PCa, ALC<sup>(注2,3)</sup> 下地に新たに露出防水層を設置する仕様です。

部 位	仕様記号	1	2	3	4	5	6	7	8
平 場	PN-11	カスタムプライマーE <sup>(注3)</sup> 0.2kg/㎡	プレストS	プレストコート 1.2kg/㎡	プレストキャップK	仕上塗料 (オプション)	—	—	—
	PN-12	USボンダA 0.5kg/㎡ (線状塗布)	シェーンボード	プレストS	プレストコート 1.2kg/㎡	プレストキャップK	仕上塗料 (オプション)	—	—
	PN-12V (防湿層)	カスタムプライマーE <sup>(注3)</sup> 0.2kg/㎡	カスタムM	USボンダA 0.5kg/㎡ (線状塗布)	シェーンボード	プレストS	プレストコート 1.2kg/㎡	プレストキャップK	仕上塗料 (オプション)
立上り	—	カスタムプライマーE <sup>(注3)</sup> 0.2kg/㎡	プレストF	プレストコートV 1.5kg/㎡	プレストキャップK	仕上塗料 (オプション)	—	—	—

**保護防水** 防水層の上に保護層を設ける仕様です。

部 位	仕様記号	1	2	3	4	5	6	7	8
平 場	PN-13	カスタムプライマーE <sup>(注3)</sup> 0.2kg/㎡	プレストS	プレストコート 1.2kg/㎡	プレスト15	プレストコート 1.2kg/㎡	PTクロス	—	—
	PN-14	カスタムプライマーE <sup>(注3)</sup> 0.2kg/㎡	プレストS	プレストコート 1.2kg/㎡	プレスト15	プレストコート 1.2kg/㎡	BKボードE	USボンダA 0.2kg/㎡	PTクロス
立上り	—	カスタムプライマーE <sup>(注3)</sup> 0.2kg/㎡	プレストF	プレストコートV 1.5kg/㎡	プレスト15	プレストコートV 1.0kg/㎡	—	—	—

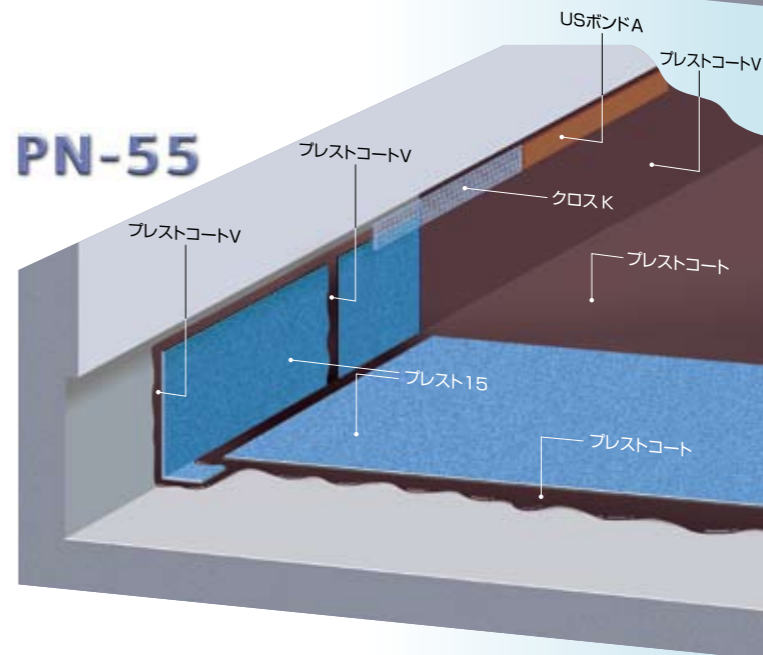
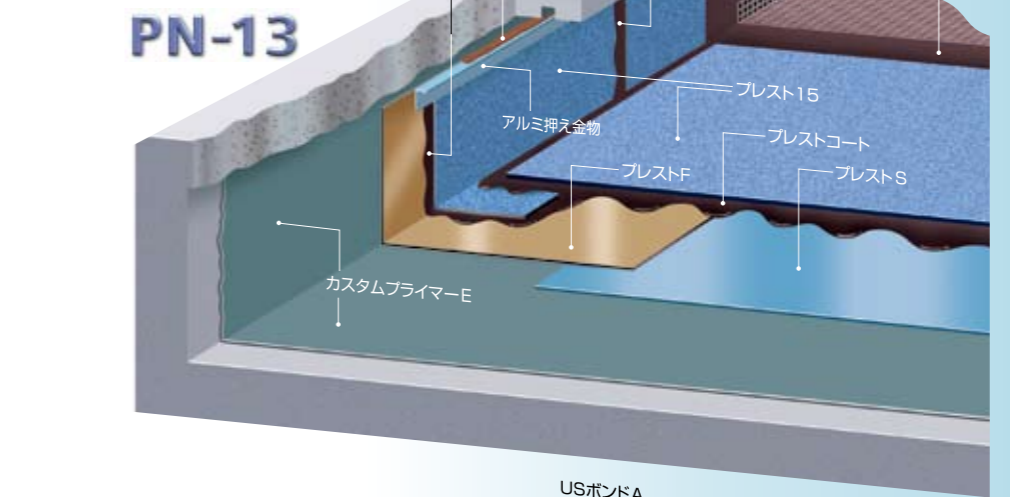
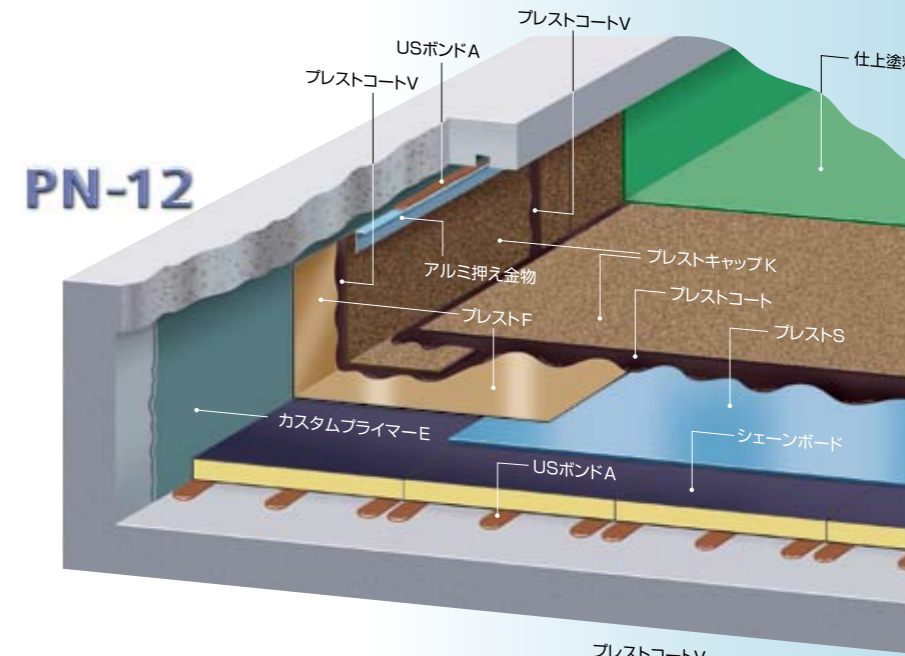
### 室内防水対応

# Indoor

浴室・厨房等の用いる場合の室内仕様です。保護モルタルを打設します。

部 位	仕様記号	1	2	3	4	5
平 場	PN-55	プレストコート 1.2kg/㎡	プレスト15	プレストコート 1.0kg/㎡	—	—
立上り	—	プレストコートV 1.5kg/㎡	プレスト15	プレストコートV 1.0kg/㎡	—	—

部 位	仕様記号	1	2	3	4	5
平 場	PN-56	カスタムプライマーE 0.2kg/㎡	プレストF	プレストコート 1.2kg/㎡	プレスト15	プレストコート 1.0kg/㎡
立上り	—	カスタムプライマーE 0.2kg/㎡	プレストF	プレストコートV 1.5kg/㎡	プレスト15	プレストコートV 1.0kg/㎡



### 露出防水

#### PN-11, PN-12, PN-12V

- 注1. ルーフィングの重ね幅は、短辺・長辺共に100mm以上とします。
- 注2. ALC下地及び異種構造の場合、入隅部はテーブJで増強します。
- 注3. ALC下地の場合、カスタムプライマーEの使用量を0.4kg/㎡とします。
- 注4. 防水層端末部のシール材は、USボンダAに替えて、マルチシールを使用することもできます。

### 保護防水

#### PN-13, PN-14

- 注1. ルーフィングの重ね幅は、短辺・長辺共に100mm以上とします。
- 注2. 立上りを露出仕様とする場合は、プレスト15に代えてプレストキャップKを張り付けます。プレストキャップKの施工後は、仕上塗料を塗布します。

### 室内防水

#### PN-55, PN-56

- 注1. ルーフィングの重ね幅は、短辺・長辺共に100mm以上とします。
- 注2. 改修の場合は、別途ご相談ください。
- 注3. 防水層端末部のシール材は、USボンダAに替えて、マルチシールを使用することもできます。

### 適用勾配と下地

防水仕様	勾配	下地	
露出	PN-11 PN-12	1/50~1/20	RC・PCa・ALC
保護	PN-13 PN-14	1/100~1/50	RC・PCa

### 仕上塗料一覧

材 料 名	水性アルミコート	プレノカラーN	ハイクール
記 号	L	N	H
種 類	シルバー塗料	水性カラー塗料	水性遮熱塗料
標準塗布量	0.3kg/㎡	0.5kg/㎡	0.5kg/㎡

\*仕上塗料を使用する場合は、プライマーM4(0.1kg/㎡)を塗布・乾燥後、翌日以降に規定量を塗布します。(プレストコート類はみ出し部のみ)

【湿気硬化型アスファルト防水工法】  
プレストシステム

BASE OF ASPHALT

## アスファルト防水層下地

既存の露出アスファルト防水層を残したままで、直接施工することができます。

部位	仕様記号	1	2	3	4	5
平場	PR-11	AQシーラー <sup>(注1)</sup> 1.5kg/㎡	プレストコート 1.2kg/㎡	プレストキャップK	仕上塗料 (オプション)	—
	PR-12	AQシーラー <sup>(注2)</sup> 1.5kg/㎡	プレストF	プレストコート 1.2kg/㎡	プレストキャップK	仕上塗料 (オプション)
立上り		カスタムプライマーE 0.2kg/㎡	プレストF	プレストコートV 1.5kg/㎡	プレストキャップK	仕上塗料 (オプション)

BASE OF CONCRETE

## コンクリート系下地

既存の保護コンクリートや、防水層を撤去した場合のコンクリート下地に施工します。

部位	仕様記号	1	2	3	4	5
平場	PR-13	カスタムプライマーE 0.2kg/㎡	プレストS	プレストコート 1.2kg/㎡	プレストキャップK	仕上塗料 (オプション)
立上り		カスタムプライマーE 0.2kg/㎡	プレストF	プレストコートV 1.5kg/㎡	プレストキャップK	仕上塗料 (オプション)

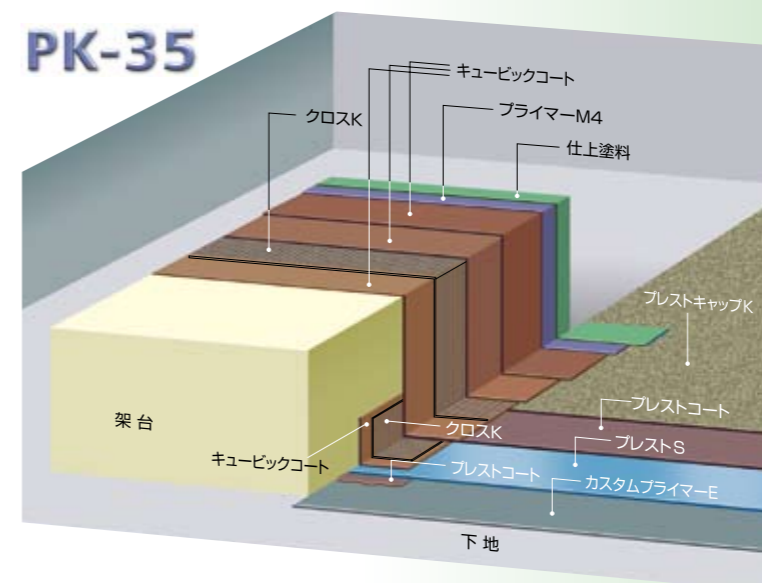
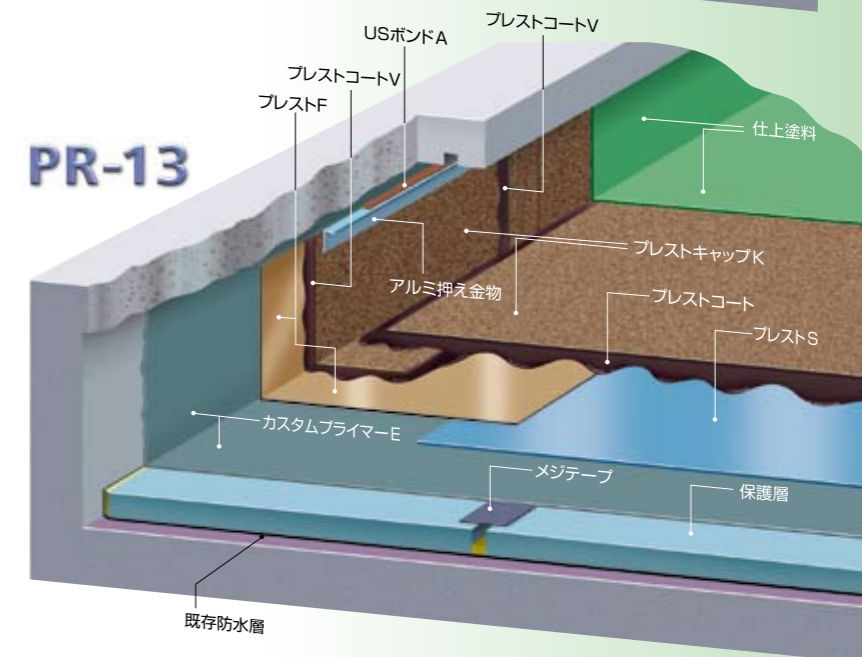
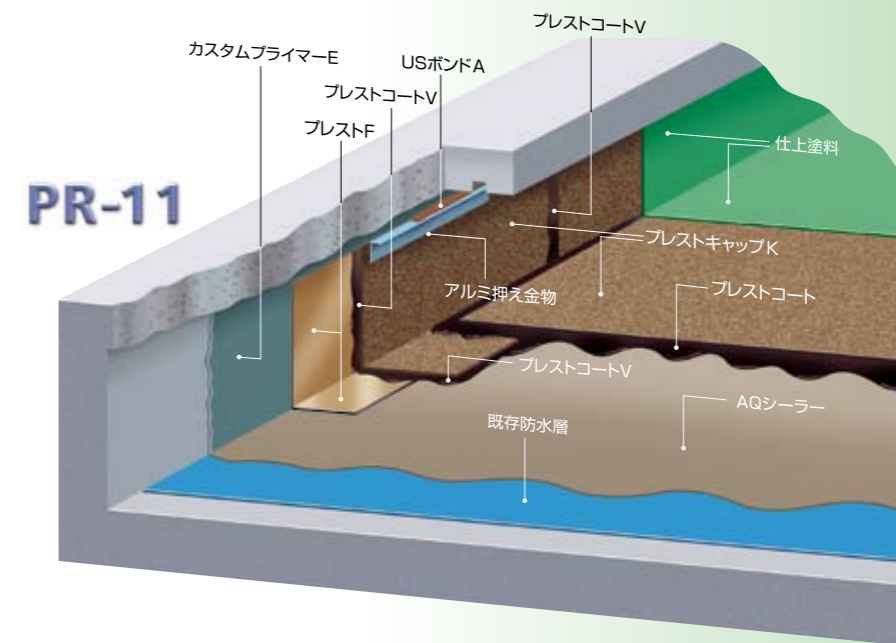
PERIPHERY OF RACK

## 架台廻り

屋上架台廻り仕様 (500mm角以内)

部位	仕様記号	1	2	3	4	5
架台廻り	PK-35	キュービックコート 1.0kg/㎡	クロスK張付	キュービックコート 1.0kg/㎡	キュービックコート 1.0kg/㎡	プライマーM4 + 仕上塗料 (オプション)

# Roof



### アスファルト 防水層下地

#### PR-11, PR-12

- 注1. AQシーラー塗布量は下地の状況に応じて変更してください。(最大で4.0kg/㎡まで)尚、既存防水層の劣化が著しい場合は、撤去工法をご検討ください。
- 注2. 既存防水層にシルバー塗料が残っている場合には、反応により発泡(水素ガス)する恐れがありますので、直接の使用を避けてください。
- 注3. ルーフィングの重ね幅は、短辺・長辺共に100mm以上とします。
- 注4. 立上りの既存保護層や防水層は、原則として撤去します。
- 注5. 防水層端部部のシーリング材は、USボンドAに替えて、マルチシーリングを使用することもできます。

### コンクリート 系下地

#### PR-13

- 注1. ルーフィングの重ね幅は、短辺・長辺共に100mm以上とします。
- 注2. 立上りの既存保護層や防水層は、原則として撤去します。
- 注3. 防水層端部部のシーリング材は、USボンドAに替えて、マルチシーリングを使用することもできます。

### 仕上塗料一覧

材料名	水性アルミコート	プレノカラーN	ハイクール
記号	L	N	H
種類	シルバー塗料	水性カラー塗料	水性遮熱塗料
標準塗布量	0.3kg/㎡	0.5kg/㎡	0.5kg/㎡

\*仕上塗料を使用する場合は、プライマーM4(0.1kg/㎡)を塗布・乾燥後、翌日以降に規定量を塗布します。(プレストコート類はみ出し部のみ)

## 消費エネルギーの低減

	プレストシステム PN-13	公共建築工事共通仕様 A-1
熱アスファルト使用量 (kg/m <sup>2</sup> ) *1	0	6.0
消費エネルギー量 (kJ/m <sup>2</sup> ) *2	0	105960
燃料消費量 (ℓ/m <sup>2</sup> ) *3	0	2.89

\*1 熱アスファルト使用量は、公共建築工事積算基準を参考に試算しています。  
 \*2 消費エネルギー量は、使用工用アスファルトが適正粘度温度まで過熱し、及び同温度を6時間維持するのに必要なエネルギーです。  
 適正粘度温度 FP-3：200℃ A-1：270℃（エネルギーの算出は自社試験によるものです）  
 \*3 燃料は灯油を使用し、灯油の発熱量を36700kJ/ℓとして試算しています。

## 二酸化炭素排出量の低減

	プレストシステム PN-13	公共建築工事共通仕様 A-1
二酸化炭素排出量 (kg/m <sup>2</sup> ) *4	0	7.19

\*4 二酸化炭素排出量は、灯油を燃料とした場合で試算しています。(2.489kg/ℓ)  
 換算値は「環境省 経済産業省 温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル Ver.2.3 平成20年5月」によるものです。

建設技術審査証明(建築技術)を取得しています。詳細は、建築建設技術審査証明書(建築技術)報告書をご参照ください。

## プレストコート・プレストコートVの性状

■プレストコート・プレストコートVは空気中の湿気により硬化する一液性の材料です。

製品名	プレストコート	プレストコートV
外 観	黒色粘ちよう液	黒色粘ちよう液
比重(25℃)	1.2~1.5	1.5~1.8
粘度(23℃) Pa.S	一般用：10~20 冬用：5~10	一般用：190~240 冬用：150~200
塗膜物性 (14日後)	引張強さ：0.90(N/mm <sup>2</sup> ) 伸び率：150(%)	引張強さ：0.90(N/mm <sup>2</sup> ) 伸び率：150(%)
推奨使用期間	製造後6か月	製造後6か月
組 成	アスファルト、特殊変成ポリマー、充填材等	アスファルト、特殊変成ポリマー、充填材等
危険物第4類第三石油類 危険等級Ⅲ		
備考・開缶後放置すると、表面に皮膜が張りますので、使用後は密閉してください。 ・表面に皮膜が張った場合は、皮膜を取り除いて使用してください。		

■ 接着性能 養生条件：20℃、65%RH、14日養生後  
 被着体：プレストキャップK

下地の種類	剥離接着強さ(N/25mm)
プレストS	15~20 (T形剥離)
プレストキャップK	10~15 (T形剥離)
旧砂付ルーフィング	10~20 (T形剥離)
コンクリート	5~10 (180度剥離)
鉄	10~20 (180度剥離)
ステンレス(プライマーM2使用)	6~8 (180度剥離)
鉛	6~8 (180度剥離)
アルミ	10~15 (180度剥離)

## プレストシステム施工留意点

### ■ 施工前の状態確認

- 下地は、表面乾燥を確認してから施工を行ってください。
- 入隅部は通りよく直角に仕上げ、出隅部分は10~20mm程度の丸面又は5mm程度の面取りを行ってください。
- 下地の既存目地は20mm程度除去し、メジテープにて処理します。メジテープは必要に応じてプライマーを塗布した後に施工し、浮きのないように転圧します。その際、メジテープは目地1スパンの長さで切断して貼り付けます。メジテープの間は5mm程度開けます。(図1)
- 下地の凸部分や突起異物は、サンダー等で除去してください。又、下地欠損部や水溜りのできる箇所はAQシーラーや樹脂モルタル等の下地調整剤で平滑に仕上げます。
- 躯体下地のレベル調整には、プレストコートを使用しないでください。
- 下地表面のレイタンスや塵埃、脂分、接着剤などの汚れは、下地清掃とともに除去してください。

### ■ 材料の取扱

- プレストコート類は屋外で直射日光や降雨の当たる場所に保管しないでください。
- プレストキャップK、プレスト15等のルーフィング類は横積して保管しないでください。
- 一度開封したプレストコート類はその日のうちに使い切ってください。

### ■ AQシーラーの使用法

#### 【 攪拌 】

- A剤を先にバケツ等の容器に空け、十分にミキサー等で攪拌し、均一な状態にします。  
 また、小分けに使用する際には、全量を十分に攪拌した後、計量配分してください。

#### 【 混合 】

- A剤をモルタル用羽根で高速攪拌しながら、B剤を徐々に加え、粒が無くなるまで2分程度攪拌します。

### 【 塗布 】

- 既存防水層にシルバー塗料が残っている場合には、反応により発泡(水素ガス)する恐れがありますので、直接の使用を避けてください。

### ■ 施工時の注意事項

- カスタムプライマーEを塗布する場合は、自着層付改質アスファルトルーフィングを張付けの部分のみ塗布してください。
- プレストコート類は溶剤等で希釈しないでください。
- プレストコート類は硬化後、直接火で炙ると膨れ、変形するため、火気を用いる施工は行わないでください。
- プレストコート施工部は、必要に応じてプレストコートVに変更することができます。
- プレストコート(V)は湿気硬化型の為、一度に2.4kg/m<sup>2</sup>以上を塗布すると硬化不良を起こす場合があります。又、下地調整や注入剤として使用しないでください。
- ルーフィング等の裁断は、鋼製定規等を使用してください。裁断時に端部を持ち上げたり、引っ張って裁断すると切り口が波打ち、端部の浮きに繋がる場合があります。

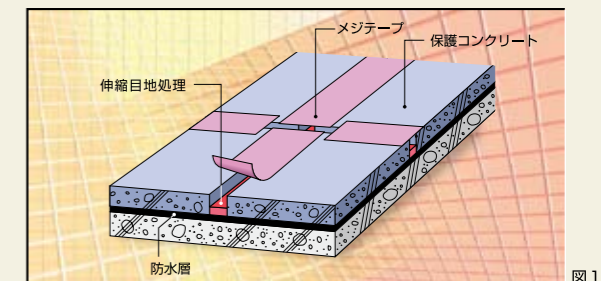
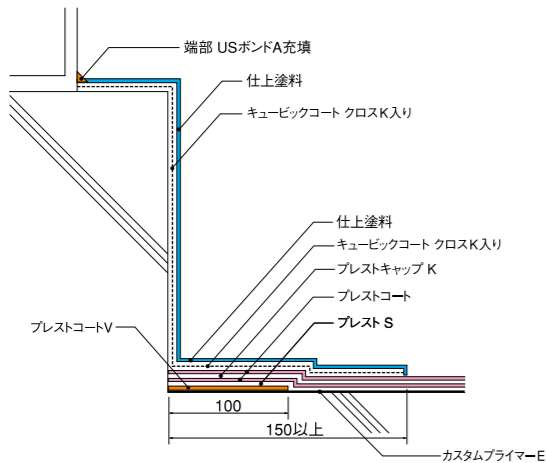
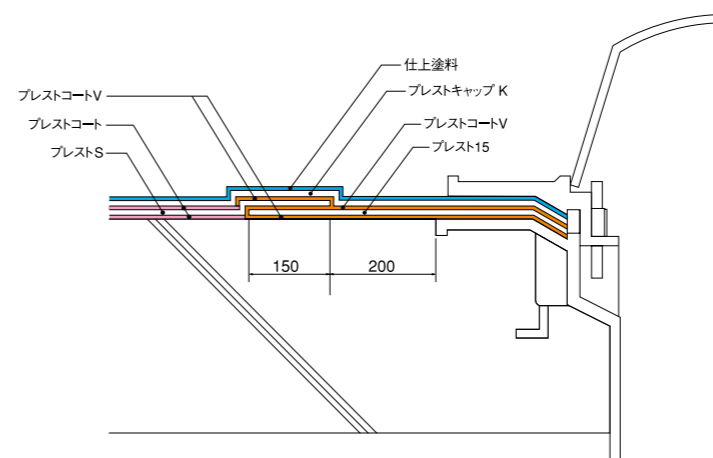


図1

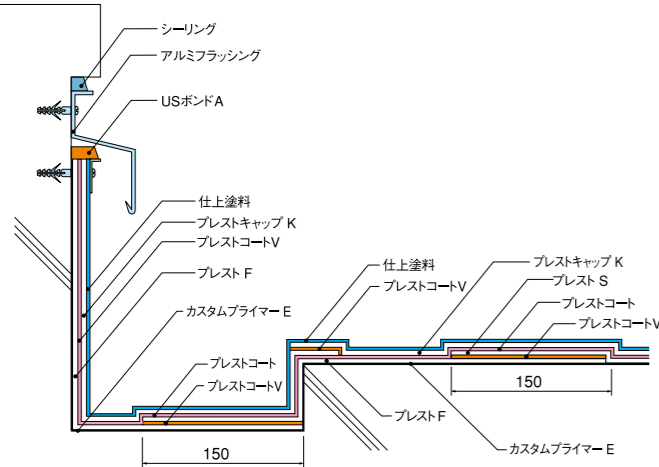
■ 屋上防水新設・架台部



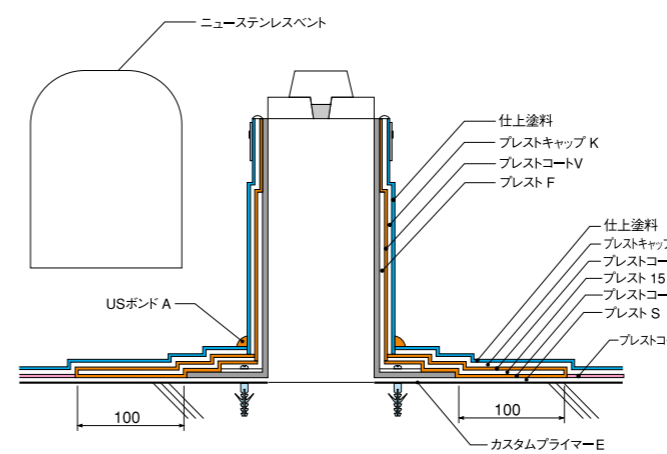
■ ドレン部



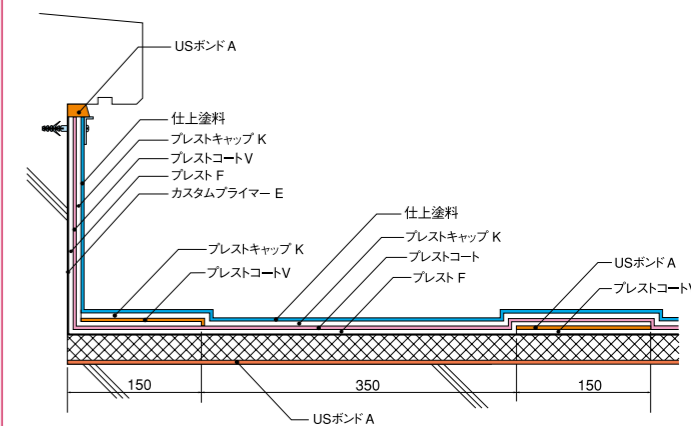
■ 屋上防水新設・側溝部



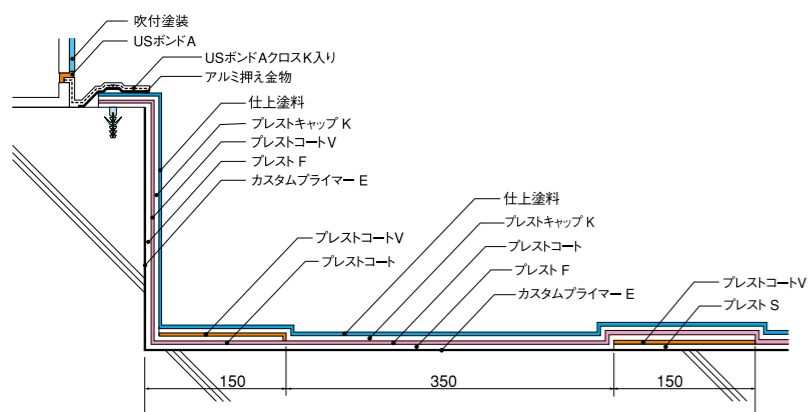
■ 脱気筒



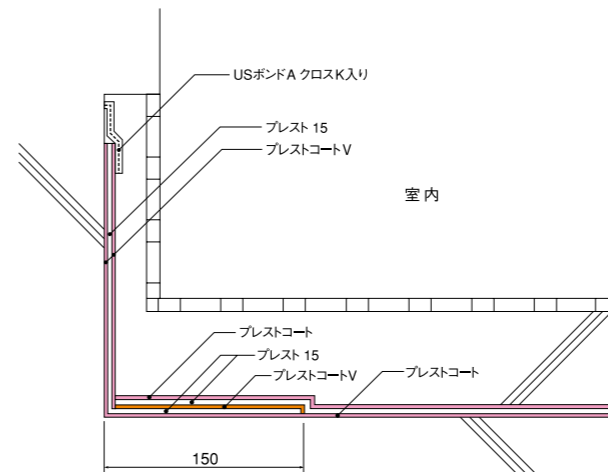
■ 断熱露出 (PN-12)



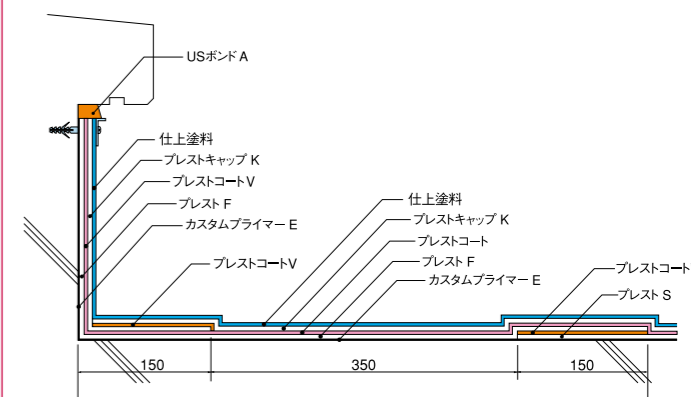
■ 屋上防水新設・壁際立上り廻り部



■ 室内 (PN-55)



■ 防水端末部 (PN-11)



主要資材



**NISSHIN**  
**プレストコート**

非加熱、常温使用、無煙化、無臭化へ種々の条件を克服し開発された1液型の常温アスファルトです。湿気硬化型なので確実に硬化し、弾性のある塗膜を形成します。改質アスファルトルーフィングの張付けと同時に塗膜防水材として機能します。

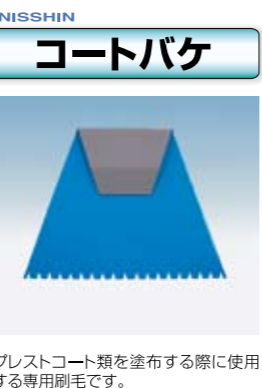
■規格：20kg/缶入



**NISSHIN**  
**プレストコートV**

1液型の常温アスファルトです。立上り部の改質アスファルトルーフィングの張付けに使用します。

■規格：10kg/缶入



**NISSHIN**  
**AQシーラー**

水性のアスファルト系下地調整剤です。改修仕様の複層工法の場合に、下地活性化剤として使用します。

■規格：A剤 17kg/缶入  
B剤 25kg/袋入

項目	A 剤	B 剤
主成分	ゴムアスファルトエマルジョン	無機水硬化粉体
粘度	180 (mPa・s)	—
外観	黒褐色液体	灰色粉体
引火性・毒性	なし	なし

**グリーン購入法適合**

**NISSHIN**  
**BKボード E**

押し発泡によるノンフロン硬質ポリスチレンフォーム断熱材です。JIS A 9511 (発泡プラスチック保温材) のA種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bの認定品です。

■規格	
寸法	910mm×910mm
厚さ*	25、30、35、40、50、60 (受注生産) mm
圧縮強度	20N/cm <sup>2</sup> 以上

\*その他の厚さについては、ご相談ください。

**NISSHIN**  
**シェーンボード**

ノンフロン硬質ウレタン系断熱材です。JIS A 9511 (発泡プラスチック保温材) のA種硬質ウレタンフォーム保温板2種1号の透湿係数以外に適合します。

■規格	
寸法	605mm×910mm
厚さ	25、30、35、40、50、60 mm
圧縮強度	10N/cm <sup>2</sup> 以上

**NISSHIN**  
**水性アルミコート**

水性系のシルバー塗料です。

■規格：15kg/缶入

\*色見本は印刷物のため、実際の色調とは若干異なる場合があります。

**NISSHIN**  
**プレノカラー N**

アクリルエマルション系カラー仕上塗料です。

■規格：15kg/缶入

\*色見本は印刷物のため、実際の色調とは若干異なる場合があります。

**NISSHIN**  
**ハイクール**

アクリルシリコン系の高耐候性高日射反射塗料です。

■規格：16kg/缶入

\*色見本は印刷物のため、実際の色調とは若干異なる場合があります。

副資材

**NISSHIN**  
**USボンド A**

1液タイプの湿気硬化型アスファルト系シーリング材です。ルーフィングの張り仕舞や防水層末端部のシーリングに使い、接着剤としても使用します。

■規格	
10kg/缶入	20kg/缶入
330ml カートリッジ 24本/箱入	

**NISSHIN**  
**カスタムプライマー E**

改質アスファルトをベースとしたエマルジョン系のプライマーです。

■規格：16kg/缶入

**NISSHIN**  
**マルチシール**

特殊変性シリコン系シーリング材です。USボンドAの替わりに、防水層の端末部の雨仕舞に使用することができます。

■規格：330mlカートリッジ24本/箱入

**NISSHIN**  
**キュービックコート**

1液タイプの湿気硬化型塗膜防水材です。アスファルト系防水材との接着性に優れ、架台廻りの改修、補修工事に適しています。

■規格：10kg/缶入

製品名	規格	概要
カスタム M	1m×16m、厚さ1.0mm	防湿用ルーフィング
PTクロス	1m×200m、単位重量70g/m <sup>2</sup>	ポリエチレン製フラットヤーンクロス
ニューステンレスベント	SUS304	ステンレス製脱気筒
クロス K	1.02m×50m	合成繊維クロス
メジテープ	幅100mm×長さ16m 厚さ1.0mm	目地処理用粘着層付金属テープ
プライマーM4	主剤4kg/缶入 硬化剤4kg/缶入	トップコート塗継用プライマー
テープJ	0.1mm×25m 4本/箱	ALC下地用ポリウレタン系増張テープ